

平成31年1月17日

「ナラティブ・アプローチと多職種連携のシンポジウム」への参加者募集

心理臨床のナラティブ・アプローチで著名な森岡正芳先生による基調講演と共に、「ナラティブと多職種連携」のシンポジウムを開催します。シンポジウムでは、「物語り」に着目して教育実践を行ってこられた附属坂出中学校からの実践報告、地域の認知症デイケアへの学生スタッフとの参加の実践報告を通して、教育・保健医療・福祉・心理などの多職種が同じ場に集い“つながる”ことについて、また、その創造性について一緒に考えます。また、ナラティブの概念をプラットフォームとして、全学のつながりをうむことも期待しております。

日時：平成 31(2019)年 2 月 6 日 (水) 13:30~16:40

第1部 13:30~14:30 基調講演 「臨床実践とナラティブ・アプローチ」

講師：森岡 正芳 (立命館大学教授)

第2部 14:40~16:40 シンポジウム 「ナラティブ・アプローチと多職種連携」

シンポジスト 森岡 正芳 立命館大学 教授

大和田 俊 香川大学教育学部附属坂出中学校 教諭 (研究主任)

伊藤 裕康 香川大学教育学部 教授

前川 泰子 香川大学医学部看護学科 教授

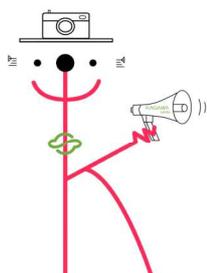
和田恵美子 京都学園大学 健康医療学部 看護学科 准教授

竹森 元彦 香川大学医学部臨床心理学科 教授

場所：香川県高松市幸町1番1号 香川大学幸町北キャンパス内 研究交流棟5階

参加費：無料 ※ご来学の際は、公共交通機関をご利用下さい。(事前予約はありません)

<講演者紹介> 京都大学文学部哲学科、同大学院教育学研究科、博士(教育学)。臨床心理士。天理大学、奈良女子大学、神戸大学教授を経て現職。ナラティブ(物語:語り)や対話的自己という視点からトラウマのケア、心身相関、家族関係、文化と癒しの問題に取り組む。



問い合わせ先

香川大学 医学部 臨床心理学科 竹森元彦

TEL: 087-832-1495

E-mail: narrative@yahoo.co.jp

香川大学 医学部 総務課 広報・法規担当 中屋敷隆博

TEL: 087-891-2008

E-mail: kouhou@med.kagawa-u.ac.jp



ナラティブ・アプローチと 多職種連携

－ナラティブをプラットフォームとしたつながりと創造－

2019年

2月6日 水 13:30-16:40

場所：香川大学幸町北キャンパス 研究交流棟5階

第一部

13:30～14:30

基調講演

「臨床実践とナラティブ・アプローチ」

講師：森岡正芳（立命館大学教授）



講師紹介

京都大学文学部哲学科、同大学院教育学研究科、博士（教育学）。臨床心理士。天理大学、奈良女子大学、神戸大学教授を経て現職。ナラティブ（物語、語り）や対話的自己という視点からトラウマのケア、心身相関、家族関係、文化と癒しの問題に取り組む。カウンセラーとしても、さまざまな学校や適応指導教室を訪問。最近では、母子生活支援センターでの家族と子どもの社会的養護や犯罪の再発防止に関わる処遇の現場に入る。近著に『臨床ナラティブアプローチ』（ミネルヴァ書房編著2015）N:ナラティブとケア第4号 特集：心理支援としてのナラティブアプローチ（遠見書房2013）

第一部

14:40～16:40

シンポジウム

「ナラティブ・アプローチと多職種連携」

シンポジスト

森岡 正芳 立命館大学 教授
大和田 俊 香川大学教育学部附属坂出中学校 教諭（研究主任）
伊藤 裕康 香川大学教育学部 教授
前川 泰子 香川大学医学部看護学科 教授
和田恵美子 京都学園大学 健康医療学部 看護学科 准教授
竹森 元彦 香川大学医学部臨床心理学科 教授

参加をご希望の方は当日、会場にお越しください（参加費無料）

竹森元彦研究室 TEL: 087-832-1495

Mail:narative@yahoo.co.jp

会場

香川県高松市幸町1番1号
香川大学幸町北キャンパス内
研究交流棟5階



お問い合わせ